

入退室管理システムの動向

塩原義浩*

The Trend of Access Control System

Yoshihiro Shiobara

要 旨

近年、敷地、建物、重要室などへの人の出入りを制限・管理する入退室管理システムの需要が高まっている。

以前は特定の施設に導入に限られていたが、数年前から、一般のオフィスビルや工場にも入退室管理システムの導入が広まっていることから、利用する場所や施設の特性に合った様々な機能や機器が求められるようになってきている。

本稿では、三菱電機がこれまでに納入した入退室管理システムの用途別の特徴的な機能について述べる。

(1) オフィスビル

人事情報システムとの連携、社員証カードの印刷、来客へのカード貸し出し管理、履歴検索による運用サポートなどの管理機能

(2) 電算センター

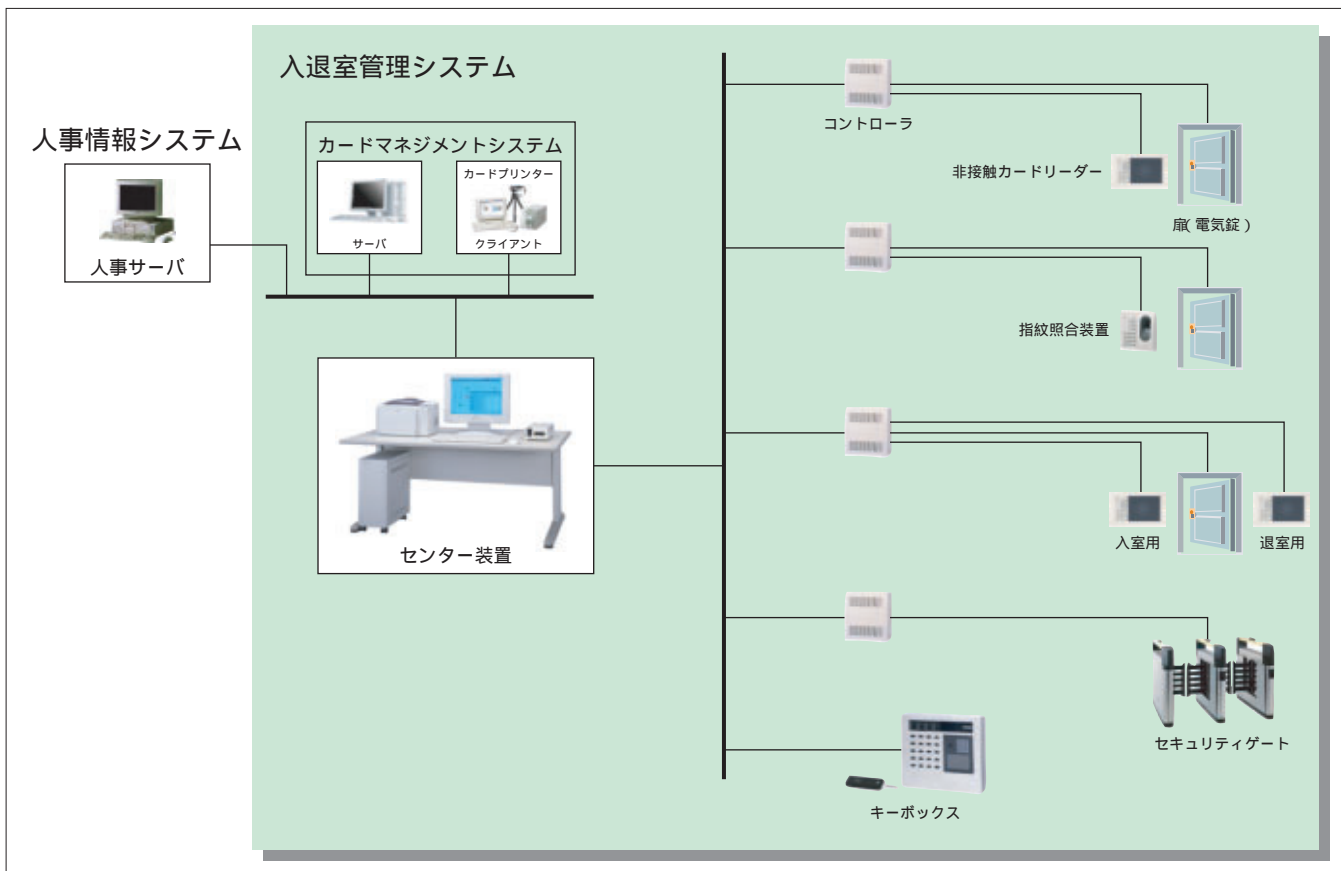
セキュリティ強化のために、利用者自身によるカード暗証番号の変更機能やセキュリティゲートによる入退館管理、インタロック機能・アンチバスバック機能による共連れ防止

(3) 工場

構内の在場者管理のための屋外式セキュリティゲートや車両出入り管理のための車番読取り装置

(4) 群管理

全国の支社・支店の部屋(扉)を本社のセンター装置で一括管理する入退室の群管理システム



入退室管理システムの構成例

非接触カードリーダー操作により部屋(扉)の入室を行う。重要な部屋では、指紋照合装置の使用や、カードリーダーを出入口に設置する。また、通行量の多い場所ではセキュリティゲートを使用することもある。センター装置では、カードデータの登録、通行権限の設定、通行履歴の表示を行う。サブシステムであるカードマネジメントシステムにより、カードの印刷、人事情報システムとの連携を行う。